

会 議 録

会 議 の 名 称	行田市在宅医療・介護連携推進協議会 研修部会	
開 催 日 時	令和6年8月8日(木) 開会：19時00分 閉会：19時45分	
開 催 場 所	産業文化会館管理棟 第2A会議室	
出席者(委員) 氏 名	澤田千尋、江黒 徹、豊島拓海、平野輝利人、 加藤里美、川島 治	
欠席者(委員) 氏 名	溝上俊亮、小林永治、堀内 規、河野真也、出雲秀章、前田千穂、 島田由紀子	
事 務 局	行田市高齢者福祉課地域包括ケア担当 機能強化型地域包括支援センター緑風苑	
会 議 内 容	7月13日「パーキンソン病を知る！多職種で支える！ACP研修会」について ① 開催にあたっての反省・改善点 ・ファシリテーションについて ・全体について(参加者のアンケート含む) ② 次回開催時期・修正点 ③ その他	
会 議 資 料	(資料名・概要等) ふらっと会議議題	
そ の 他 必 要 事 項		
会 議 録 の 確 定	確 定 年 月 日	主 宰 者 記 名
	令和6年10月1日	澤田千尋

発言者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
各委員	[開会] 19:00 R6年7月13日 「パーキンソン病を知る！多職種で支える！ACP研修会」について ① 開催にあたっての反省・改善点 ・ファシリテーションについて 誘導はできたが、「人生ファイル」については模造紙に書かれてあったが、話ができず困った。 多職種連携はうまくいったが、人生ファイルがうまくいかなかった。最初から説明しておけばよかったと思う。 ケアマネが司会をするようになっていたが、ケアマネ自身が戸惑っていた。 別のグループでは、ケアマネが良く司会をしてくれた。ケアマネ自身、事前にケースを読み込んできていた。 タイムスケジュールが分かりにくかった。 グループワークの時間が短過ぎた。 話し合いのメリハリがあったほうがよかった。 全体の進行を作業部会のリーダー委員がやったほうがよかったかもしれない。 ・全体について（参加者のアンケート含む） グループテーブルが広すぎて、声が聞こえなかった。 歯科の参加が少なかった。 感想の発表があってよかった。また、色々な話が聞けてよかったとの多くの感想があってよかった。 ② 次回開催時期・修正点 次回の研修は、10月11日（金）18:30～市役所305・306会議

室又は商工センターとなる予定。

模造紙を「連携」「人生ファイル」の2つにする。

グループワークの時間を検討し、時間配分（話し合いは30分、
まとめ5分など）をしっかりと出す。

グループの話し合いの時間を延ばしてもいいのではないかな？

事前資料送付のときに、最初に検討する課題も送付して、考えて
おいてもらおうとよい。

内容を練って、ケアマネに事前に伝えておくなど、準備をしっかりと
りする。

サービス担当者会議の模擬をすることと、研修の目的を明確する
ことを両立させるのは難しかった。研修の目的は、サービス担当者
会議の実施ではなく、多職種連携がメインとなる。

多職種が集まって話ができれば、研修としての目的を半分以上達成
しているのではないかな。多職種連携を第一の目標にしたい。

ケアマネの役割に期待したい。

ファシリテーターがケアマネに合わせて司会を行い、意見をまと
めて発表はケアマネにしてもらう。

作業部会のメンバーに、ファシリテーターについて個別に声をかけ
る。

③ その他

豊島さんが10月に異動になる。後任は小川さん。

次回は11月開催とする。

【閉会】 19:45